

(表1)

給水方式	停電の場合	長所	短所
直結直圧方式	給水可能	①水圧により水が供給されるため、電力等の動力が不要。 ②受水槽・ポンプの維持管理が不要。 ③水道管と直結するため、安全性が確保された水が供給できる。	①水道管断水時には、給水できない。 ②水道管の水圧低下が発生すると、蛇口からの水の出が弱くなる。
直結増圧方式	高層階のみ水が出ない場合あり	①受水槽の維持管理が不要。 ②水道管と直結するため、安全性が確保された水が供給できる。	①水道管断水時には、給水できない。 ②水道管の水圧低下が発生すると、蛇口からの水の出が弱くなる。
受水槽方式	断水	①学校や病院などの一度に水道水を多く使用する場合でも給水できる。 ②水道管が断水となった場合でも水槽内の水を使用できる。	①受水槽・ポンプの維持管理が必要。 ②受水槽の清掃・保守が不十分だと水質低下につながり不衛生となる。 ③貯水時間が長くなると水質劣化するため、不衛生となる。

災害への備えについて

大人1人が生命を維持するために必要な水の量は、1日3リットルと言われています。ご家庭でポリ容器等に水をくみ置きしておくこと災害時に大変役に立ちます。

くみ置きする時には容器を清潔にし、中に空気が残らないように水道水を入れてください。直射日光を避ければ3日程度は保存できます。

上下水道部でもポリタンクや給水袋等を備蓄していますが、数に限りがありますので、日頃から各ご家庭でも災害に対する備えをしてください。



緊急災害対策用貯蔵庫 (日の出町)



ポリタンク (10ℓ)



給水袋 (10ℓ)

被災地支援

北海道胆振東部地震被災地を支援するために、上下水道部では日本水道協会からの要請を受け、厚真町、安平町、日高町に職員を派遣し、応急給水、水質検査、漏水調査、水道管の復旧工事を行いました。

特に厚真町は、土砂崩れにより浄水場や水道管、下水道管が被災しており、下水道管の復旧のため平成30年10月から12月まで職員を派遣しました。

さらに、平成31年1月からは、むかわ町へも派遣しています。

被災された方が一日でも早く元の生活に戻るよう心から願っています。



漏水調査



応急給水



水質検査



水道管の復旧

苫小牧市で断水？

今回の地震で「苫小牧市で断水する」といった内容のデマ情報がSNS上で広がり、電話での問い合わせが多数寄せられました。これらは根拠のない情報ですので、今後は市のホームページなどで正しい情報を入力し、冷静な判断と備えをしてください。

停電でトイレが使えない？

近年のトイレは、水を流す際に電子制御しているものがあり、電気を利用したものが増えてきています。そのタイプのトイレは節水や清潔を保ち便利である反面、停電すると通常の操作では使えなくなります。

この場合、本体に付属の電動レバーを用いて排水する方法や、乾電池をセツトしボタンを押すことで排水を行う方法など、特別な操作が必要になります。

これらの操作は各メーカーにより異なるため、メーカーの公式ホームページや、付属の説明書・カタログなどで、停電時の利用方法を調べておくことが大切です。